

## 1. プロジェクトの目的および研究のテーマとその特徴

現在の日本には、さまざまな政策課題があるが、若者にとって最も関心が高い課題の1つが「雇用問題」だろう。若者の雇用減は、経済のグローバル化に対応した日本企業の海外現地化と、国内での既存正社員の「長期雇用保障の慣習」維持の結果である。

その上、日本企業は外国人の採用を積極的に推進し始めた。日本の若者は、日本国内の縮小する雇用を、日本人同士だけでなく外国の若者とも奪い合うことになった。一方、日本の外に目を向けると、中国などアジアでは日系企業の現地法人も、外資系企業も採用数を増やし、ジョブ・マーケットが拡大している。しかし、海外で日本の若者が就職するのは困難である。ここでは中国、香港、シンガポール、マレーシアなどの、欧米で高等教育を受けた若者たちが競い合っている。また、欧米からも多数の高学歴の若者がアジアでの就職を希望し参入している。この競争に語学やビジネススキルの習熟度が低い日本の若者は勝ち抜けないのが現状だ。

本プロジェクトでは、日本の若者がますますグローバル化するビジネスの競争に生き残る「国際競争力」を獲得するためにどうすべきかを追究する。そして最終的には、日本の大学の人材育成、企業の雇用戦略のあり方、そして政府の雇用政策に対して、政策科学的な観点からの提言を目指したい。

調査対象は英国である。英国は、経済規模(GDP)が世界 5-6 位だが、英語が世界標準語であり、かつて覇権国として世界の枠組み・制度を作り上げたノウハウや知識を蓄積し、英連邦（旧大英帝国植民地）などの世界的な人脈ネットワークを持つ。この優位性から、英国は「グローバル・ハブ国家」として、金融、法律、会計、コンサルタントなどの高度サービスの中心となっている。また、英国の大学は、留学生比率が学部で 10%、大学院で 42% と高く、アジアなど世界中のビジネス市場に優秀な人材を輩出している。英国を調査することは、世界の若者やグローバル・ビジネスの動向を探るには最適だと考える。

本プロジェクトは原則として日本語で運営する。プロジェクト開始時に英語ができなくても参加できる。しかし、プロジェクトでの作業を通じて、一般的な英会話と異なる「業務用スキル」としての英語能力を学生が身につけるよう考える。具体的には、研究計画書や質問票の作成、訪問先の開拓やアポ取り（基本的に教員のコネクションを使えるが）、現地での聞き取り、調査後のお礼状、報告書作成など一連の作業を、できるかぎり英語を用いて行う。これらの訓練は、学生の「国際競争力」向上に直結するものでもある。

## 2. 調査対象（フィールド）およびその特徴

本プロジェクトは、上記目的を達成するために、国内外で調査を実施する。

国内では厚生労働省・文部科学省の資料や文献のサーベイや、留学生（APU、衣笠）、海外留学経験のあるビジネスマン、外国人の採用増を検討する企業へのヒアリングを行う。

英国では、英国の大学および英国の日系企業を訪問調査する。具体的には、①英国の大学に留学している世界の若者と実際に交流し、彼らの能力・人間性を知ること、②大学の

国際部・就職部へのヒアリングから「人材育成」の方針を確認する、③ロンドンの日系企業現地法人を訪問し、その雇用戦略とグローバル・ビジネスが求める人材像を知ること、等を調査の目的とする。

### **3. 受講生が負担することになる概算費用（英国訪問調査）**

日程：2011年9月（後期セメスター開始まで）10日程度。

費用、およそ25万円（航空運賃、朝食付きホテル、保険代、鉄道移動費等）。

### **4. 選考方法**

本プロジェクト志望者は、「研究計画書」および「英国プロジェクト志望理由書」として、このプロジェクトからなにが学びたいかをテーマにA4サイズ・MS Word、1000字程度で作成し、期日までに提出すること。英語で執筆してもよい。

### **5. その他：本プロジェクトの1年間の流れ**

- ① 前期：国内での基礎文献調査、日本事情研究、研究計画の立案、留学生（APU、衣笠）・海外留学経験のあるビジネスマン・日本企業へのヒアリング、現地調査計画の立案。
- ② 現地調査スケジュールのイメージ
  - 1日目：ロンドンへのフライト、ロンドン着。
  - 2日目：ロンドン・シティでの日系企業へのインタビュー調査（1）。
  - 3日目：ロンドン・シティでの日系企業インタビュー調査（2）。  
ロンドン市内観光。ロンドン市内パブ見学。
  - 4日目：コベントリー市へ移動。  
ウォーリック大学で日本人留学生と交流。
  - 5日目：ウォーリック大学国際部・就職部へのインタビュー調査。  
アジアからの留学生へのインタビュー調査。
  - 6日目：プレゼン準備。
  - 7日目：ウォーリック大学の留学生を交えてワークショップ。プレゼンテーション
  - 8日目：オックスフォード観光、ロンドンへ移動。
  - 9日目：関空へのフライト。
  - 10日目：朝、関空に到着。
- ③ 後期：現地調査を踏まえて、その分析を行い、研究報告会、報告書作成（英語による）を行う。

質問等があれば、上久保まで（[masatok@fc.ritsumei.ac.jp](mailto:masatok@fc.ritsumei.ac.jp)）連絡してください。

以上